

卒業生・修了生から

卒業生

本を読むこと

建設環境工学科卒業生
吉崎 晋理



自分が5年間の高専生活で最も永く通った場所は間違いなく図書館である。それもそのはず、自分が高専に入学した理由の何割かは図書館にあるのだから。中3の冬、学校案内の際にはじめて足を踏み入れた時、私はその場で「高専に行こう」と決心した。何といっても素晴らしいのはその蔵書の量で中学校の図書室を使っていた当時の私は感動すら覚えた。さらにそれら

の本が冷暖房の効いた清潔な部屋に並べられているのだから文句のつけようがない。しかし、これだけ素晴らしい図書館なのに放課後とテスト期間以外は驚くほど人が少ない。そしてそこで本を読んでいる人はさらに少ない。県立図書館ならば予約者が100人はいる人気の本が普通に新刊コーナーの棚にあった時はうれしい半面複雑な気分になった。読書という行為は人間の視野を広げ、知識に深さを与える。「本を読まない人は損をしている」とまでは言わないが、本を読む人は確実に得をしていると私は考えている。皆もぜひ本を読んでほしい。文芸書でも専門書でもライトノベルだって構わない。それを読んだという事実が人生を少しだけ豊かにするのだから。

図書館のすすめ

電子制御工学科卒業生
三谷 佳一



私の読書は、多くが専門書（数理工系）で、それに続き評論書や哲学書、興味本位で啓発書、そして合間を縫うようにして小説（ホラーやSF、推理系）といった割合です。なので、私は、本学校の図書館においては、工系の書棚や雑誌の書棚よりも奥と、数系の書棚よりも手前をあまり詳しく知りません。逆に、それ以外についてはどこにどの本が置かれているかを大体、その本のこの辺りにはどんな内容が記載されているかをある程度把握しています。そうなるほど、この図書館で

は本を読み漁りました。そのおかげで、所望に合った本に素早く辿り着くことができるようになり、図書館がより便利になっていくのを実感しました。

図書館には、書店ではあまり置かれていないような本が数多く存在します。そういった本でさえも手軽にこの手で持つことができるというのは、非常に有意義なものです。さらに、「〇〇へ行くついでに」あるいは「〇〇から帰るついでに」、つまり「〇〇するついでに」、ではなく「学校に来たついでに」立ち寄ることができるという感覚は他では味わえないものです。

この図書館は、井の中で溺れていた私に広大な知見をもたらしてくれました。これからは、蜿蜒たる波に抗いながらも、新知見や未知なるものを求めて泳ぎ続けていけるように精進していきます。

長い間、本当に有難う御座いました。



修了生

この1年を振り返って

創造工学専攻修了生
古免 久弥



僕は専攻科2年の6月から図書館でアルバイトをしてきました。この8ヶ月だけで多くの学生が利用していくのを見ましたが、テスト期間での学習に使うために訪れる人が大多数であったように思います。確かに図書館は静かで集中できる場ではあると思いますが、それだけで終わらせるのは少しもったいな

いと思いました。

みなさんは本校の図書館にどんな本が置いてあるのか、一度じっくり見て回ったことはあるでしょうか。小説などの一般的な本はもちろんのこと、本校の4つの学科に関する多くの専門書や過去の学会誌なども蔵書されています。また、進学や就職に役立つ本も多くあり、進路選択に困ったときの道標の一つとなるとおもいます。僕は勉強や研究のために稀に図書館に来るだけではなく、目的がなくとも、もっと積極的に足を運んでほしいと思います。何気に手に取った一冊が自分の夢を変えたり、さらにモチベーションを上げたりするきっかけとなるかもしれません。

一期一会

電子情報通信工学専攻修生
高津 朋裕



僕が図書館アルバイトを始めようと思った理由は、今までバイトをしたことがなく、学生のうちに経験しておきたかったからです。実際この一年間はとても充実したものでした。図書館アルバイトの仕事内容は、書架の整理や本の貸し借りの処理や雑誌の受け入れ等を行いました。

そんな僕が一番好きな仕事だったのが、ポスターの製作でした。皆さんは目にしたことがあるでしょうか？ブックハンティングや推薦図書のパスターの多くはアルバイトが担当しています。僕が初めて担当した推薦図書は、自身も経験している吹奏楽関連の本を集めました。肝心のポスターはというと、流行していた林修先生のイラストを用いて「吹奏楽を楽しむなら今

でしょ！」とキャッチフレーズを作りました。すると、周りの反応も上々で、多くの人を読んでくれたことを図書館の方から聞いて、とても嬉しくなりました。

図書館で働いていて良かったことは、多くの本に触れることができたことだと思います。書架の整理や除籍準備をしていると、自分が今まで知ることのなかった本に出会えたことは大きな喜びでした。その結果、この一年間の僕の読書量は倍増し、多くの知識や価値観を吸収することができました。

実は、読書の醍醐味は他人の人生を覗き見できることだと考えています。登場人物の心情に共感することで日常でも他人を受け入れることができます。現実で困難な壁におち当たっても、あの人はこんなこと書いていたな、じゃあ実践してみるか！と克服することもできます。僕が就職活動で頑張れたのも読書をしてきたからだと思います。

最後に、図書館アルバイトでお世話になった方々に感謝の意を表します。井内さん、高島さん、藤田さん、本当にありがとうございました。

図書館貸出冊数

平成25年4月～平成26年2月

〈総合〉

種類	高松	詫間	合計
図書	8,710	8,683	17,393
雑誌	149	662	811
C D	2,015	1,698	3,713
合計	10,874	11,043	21,917



〈学科別〉 (対象：図書とCD)

